

かけ算から穴あきかけ算、そしてわり算へ

明けましておめでとうございます。今年もよろしくお願ひいたします。

いよいよ第4Qが始まりました。残り3か月ですの学校生活を通して、子どもたちがたくさん成長していけるように、邁進してまいりますので、今後ともよろしくお願ひいたします。

さて、第3Qの学習目標の1つ「ばらばら九九、4分以内に全問正解」を、非常に多くの子が達成することができました。

この時期にこれはものすごい成果です。

子どもたちもよくがんばりましたし、ご家庭でもご協力あってこそその成果だと、感謝の気持ちでいっぱいです。

九九は、今後の算数・数学につながる超重要な内容です。

かけ算やわり算のつまづきがきっかけで算数が嫌いになってしまう子もいるので、2年生のうちにかかけ算を完全に習得しておくことが大切です。

まだ完全に覚えられていない子も、慌てなくてもよいので、完全な定着を目指して根気よく取り組んでいってください。

第4Qでは、以下のような穴あきかけ算に取り組んでいきます。

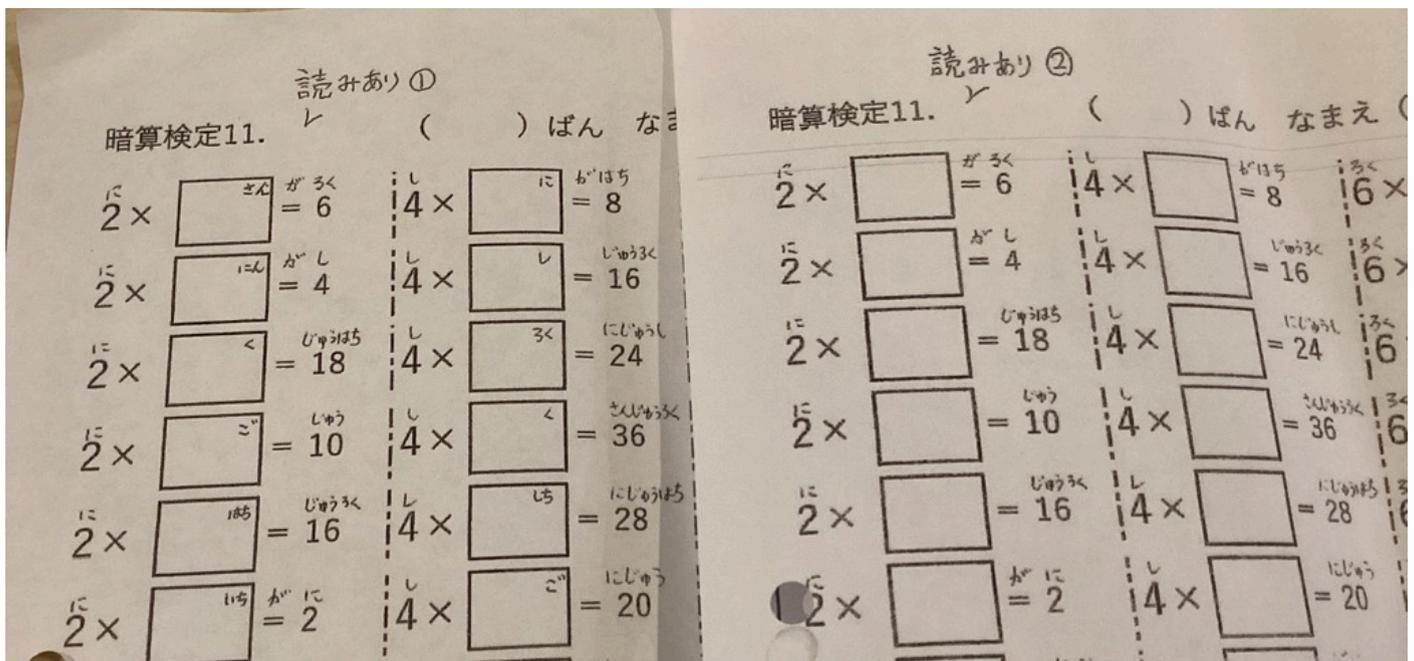
暗算検定11. () ばん なまえ ()

$2 \times \square = 6$	$4 \times \square = 8$	$6 \times \square = 36$	$8 \times \square = 40$
$2 \times \square = 4$	$4 \times \square = 16$	$6 \times \square = 6$	$8 \times \square = 56$
$2 \times \square = 18$	$4 \times \square = 24$	$6 \times \square = 24$	$8 \times \square = 32$
$2 \times \square = 10$	$4 \times \square = 36$	$6 \times \square = 42$	$8 \times \square = 8$

わり算に繋がる計算ですが、一部の子はすぐできてしまいます。しかし、多くの子どもにとっては、この穴あきかけ算はなかなか難しいようです。

かけ算の記憶や処理を、視覚で行っている子にとっては簡単で、聴覚で行っている子にとっては難しいのではないかなと思っています。

そこで一計を案じ、以下の2種類のプリントを作りました。



読みあり①は答えまで、②は答え以外の読みがあります。

読みがあることで、聴覚優位の子（音で九九を覚えている子）も自力で解くことができるのではないかと考えました。

効果は抜群でした。

3Qまでで、穴あきかけ算で苦労していた子たちが、読みありを練習することで、読みなしの穴あきかけ算も解けるようになりました。

今日、「先生！読みなしの11級合格できた！」とうれしそうに報告してくれた子もいたので、やはり読みなしは難しく、読みがあることがよい補助になっていたことが伺えました。

4Qから穴あきかけ算に取り組む子たちも、この読みあり①②をうまく活用しながら、取り組んでもらおうと思っています。

数の時間に成長を実感

今では懐かしいですが、4月最初の数の時間に、足し算（5級）と引き算（6級）のプリントを配りました。すると、子どもたちは口々に、「え～、こんなにたくさん解くの？絶対無理！」と言っていました。

あれから9か月、今では当たり前のように多くの問題を計算しています。しかも、子どもたちは毎回とても真剣に、しかしとても楽しそうに計算しています。

努力を重ねることで、集中力と計算力、自信と意欲が高まったのでしよう。計算力だけでなく、学ぶ姿勢や態度まで含めて、よい形で3年生を迎えられるように、残り3か月もみんなががんばっていきます。